



Newsletter

日本食物繊維研究会



No.1 September 1996

| | |
|-----------------------------------|---|
| 日本食物繊維研究会設立にあたって | 1 |
| 日本食物繊維研究会第1回学術集会予告および演題募集のお知らせ | 2 |
| Spot News 特定保健用食品の表示許可品目-食物繊維関係分- | 6 |
| Topics 日本食物繊維研究会に関する記事紹介 | 7 |
| 事務局だより | 8 |

日本食物繊維研究会設立にあたって

日本食物繊維研究会
会長 印南 敏

1996年6月29日に、私たちは日本食物繊維研究会を発足いたしました。

顧みますと、Dietary fiberの概念が提出されてから、20有余年が過ぎました。1970年代から始まった食物繊維研究は近代科学の光に照らされて、人間の健康に及ぼす重要性が認識されました。我が国においても食物繊維は、日本食品成分表への掲載、目標摂取量の設定、食品成分表示にリストアップされるようになりました。これら一連の出来事は食物繊維が疾病の予防や健康を維持する上でなくてはならない必須な食品成分と位置づけられたことを意味します。

しかしながら、食物繊維研究の分野では未だ多くの問題を抱えています。御存じのように、定義、用語、定量法に関しては尚、必ずしも意見の一致をみておりません。生理機能についても解明されるべき多くの問題を残していますし、また、目標摂取量にしても、必ずしも十分基礎データが提供されたわけではありません。

このように考えますと、食物繊維に関する諸問題を自由な立場で研究し、討論する場があっても良いのではないかとこの考えの下に私たちは「日本食物繊維研究会」を設立して、食物繊維と健康に関する先駆的、独創的な研究を開発・推進したいと考えています。食物繊維の研究、開発あるいは日本人の健康問題として関心を抱かれる諸兄弟の御支援と御協力を期待して止みません。

今後、本研究会における研究と討論の場に御参加下さいますよう御願いたします。

第1回学術集会開催 および 演題募集のお知らせ

1. 第1回学術集会開催のご案内

本年の日本食物繊維研究会第1回学術集会を東京大学医学部・奥 恒行氏を学術集会会長とし、関係諸先生のお世話により下記の通りに開催します。会員多数のご参加と食物繊維をはじめとする難消化性糖類周辺の幅広い分野からの演題申込を期待します。

- 1) 日 時：平成8年12月6日（金） 9：00～18：00
- 2) 場 所：国立健康・栄養研究所（〒162 東京都新宿区戸山1-23-1）
- 3) 講演および討論

発表はスライドプロジェクター（35mmスライド）1台を用いて行います。OHPは用意致しません。本学術集会においては、討論が活発にできるようにしたいと考えております。このため、1演題の持ち時間を少しでも長くする（標準15分）予定です。なお、演題申込数によって討論時間を変更することがあります。一般講演の発表日程・運営等に関しては後日改めてご案内します。

4) 総会および学術集会受付

受付は開始30分前より、国立健康・栄養研究所2階大会議室ロビーにて行います。参加費・会場費（講演要旨集込み）として、正会員3,000円、学生会員1,500円、非会員4,000円を申し受けます。なお、学術集会参加者は翌日の公開講演会に無料で参加できます。

5) 呼び出し、クローク、昼食、駐車場、宿泊等の手配など

- 会場での呼び出しは行いません。また、クロークも設置しませんので、荷物等は各自で保管して下さい。
 - 昼食弁当等は用意致しませんので近くのレストランをご利用下さい。
 - 研究会事務局は宿泊等の手配を行いませんので、各自で行って下さい。
 - 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。
-

6) 学術集会会場への交通案内 (国立健康・栄養研究所)

営団地下鉄東西線・早稲田駅下車 徒歩約8分



2. 一般演題申込要領

1) 申込期限

平成8年11月2日(土)必着のこと

2) 申込先

日本食物繊維研究会事務局

〒162 東京都新宿区戸山1-23-1

国立健康・栄養研究所 食品科学部内

3) 講演要旨作成要領

- ①講演要旨原稿はオフセット印刷するのでワープロ(黒印字)でB5サイズ2頁(B4サイズで見開き1頁になる)に仕上げてください。印刷スペースについては次頁の一般講演要旨フォームをご参照下さい。
- ②図表を入れる場合は指定の枠内に納まるようにして下さい。
- ③用紙は通常のプリント用紙を用いて下さい。
- ④発表者が複数の場合、講演者の左頭に○印を付けて下さい。
- ⑤所属は略称を用い、氏名の後に()で囲んで下さい。
- ⑥講演要旨原稿のオリジナルとコピー1部をお送り下さい。
- ⑦複数の講演要旨を同封する場合はその旨を封書に朱書して下さい。
- ⑧折り曲げないようにして、「簡易書留」でご送付下さい。
- ⑨講演要旨原稿受領通知用のはがき1枚(宛名を記入したもの)を同封して下さい。

一般講演要旨フォーム

余白約3cm

←→ 食物繊維の○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
約 2 cm

○本郷太郎 (東大・医)、戸山花子 (国立栄研・食品科学)

余白約 3 cm

余白約 2 cm

B-5サイズ 2枚
(見開き B-4・1枚)
30字×30行前後、明朝体
字の大きさ;
本文 : 10~12ポイント
タイトル : 13~15ポイント

余白約 3 cm

余白約3cm

余白約 3 cm

余白約 2 cm

余白約 3 cm

4) その他

- ①発表者のうち1名以上は本研究会会員であることが必要です。
 ②演題の採否、講演日時等はプログラム委員会にお任せください。プログラムは学術集会前に届くよう発送の予定です。

5) 演題申込に関するお問い合わせ先

日本食物繊維研究会事務局

〒162 東京都新宿区戸山1-23-1

国立健康・栄養研究所 食品科学部内

電話：03-3203-5601



日本食物繊維研究会 第1回公開講演会開催の予告

日時：平成8年12月7日（土） 13：30～16：00

場所：昭和女子大・グリーンホール

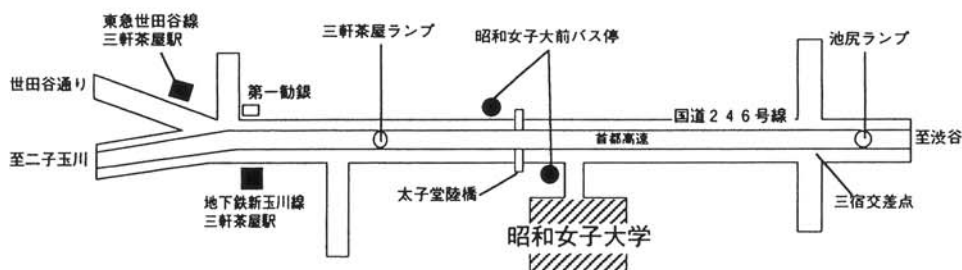
〒162 東京都世田谷区太子堂1-7 電話：03-3411-5111（代）

講演：

- 1.食物繊維とはどんなものか？どんな働きをするか？
 どれだけとればよいか？ 甲子園大・栄養 中村尚夫
- 2.食物繊維と病気 防衛医大・内科 中村治雄

公開講演会場（昭和女子大学）への交通案内

- 渋谷より東急新玉川線で2つ目「三軒茶屋」駅下車 徒歩約5分
- バス：JR渋谷駅南口より三軒茶屋方面「昭和女子大学」下車



SPOT NEWS

特定保健用食品の表示許可品目 一食物繊維関係分一

(平成8年5月31日現在)

| 商品名 | 申請者 | 食品の種類 | 関与する成分 | 許可を受けた表示の内容 | 摂取をする上での注意事項 |
|-------------------|-------------------|------------|------------|---|---|
| オールブラン | 日本ケロッグ株式会社 | シリアル | 小麦フスマ | オールブランは、食物繊維の豊富な小麦フスマ（ブラン）を原料にしているのでおなかの調子を整える食品です。 おいしく食べておなかすっきり。 | 食べ過ぎにより、一過性におなかがゆるくなる場合があります。 |
| ヘルケツト | 日本化薬株式会社 | ビスケット | キトサン | 商品「ヘルケツト」はコレステロールの吸収をしにくくするキトサンを所定量配合したビスケットであり、コレステロールの高い人又は注意している人の食生活の改善に役立ちます。 | 食物繊維が含まれている為なるべく水分と共にお召し上がり下さい。 |
| 健康応援食品・キトサン入りマリーン | 株式会社紀文食品 | かまぼこ | キトサン | 「健康応援食品・キトサン入りマリーン」は、コレステロールの吸収をしにくくするキトサンを摂取しやすいように工夫されてあるので、コレステロールの高い人、気になる人の食生活の改善に役立ちます。 | 摂取量の目安以上に摂取していただいても健康上問題はありません。食生活にうまく取り入れておいしく召し上がって下さい。 |
| 健康バランスライフポーウインナー | 伊藤ハム株式会社 | ウインナーソーセージ | 難消化性デキストリン | 本品には、馬鈴薯でん粉からつくられた水溶性食物繊維（難消化性デキストリン）が含まれており、おなかの調子を整えます。おいしく食べておなかすっきり！ | 本品を多く摂取することにより、疾病が治癒するものではありません。 |
| ファイブミニ | 大塚製薬株式会社 | 炭酸飲料 | ポリデキストロース | ファイブミニは、食生活で不足しがちな食物繊維を手軽にとり、おなかの調子を整える食物繊維飲料です。 | 飲み過ぎあるいは体質・体調によりおなかがゆるくなる場合があります。 |
| サンファイバー55 | 太陽化学株式会社 | 粉末清涼飲料水 | グアーガム分解物 | 本製品（サンファイバー55）は、食物繊維のグアーガム物を主原料にし、おなかの調子を良好に保つよう工夫された食品（粉末清涼飲料）です。おいしく食べておなかすっきり。 | 過食により一過性の膨満感を覚えることがあります。その際は少量からお始め下さい。 |
| 健人茶論 | 近畿コカ・コーラボトリング株式会社 | 清涼飲料水 | 難消化性デキストリン | 本飲料は、食物繊維（難消化性デキストリン）を含んでおり、糖の吸収をおだやかにするので、血糖値の気になり始めた方の食生活の改善に役立ちます。 | 1本当たり約5gの食物繊維が含まれています。食生活における成人の食物繊維摂取推奨量は1日20～30gです。他の食品からの摂取量を考慮して、適量を摂取してください。本品を多く摂取することにより、疾病が治癒するものではありません。 |
| ファイバーゼリー | 株式会社ポッカコーポレーション | 清涼飲料水 | ポリデキストロース | 本品は現代人に不足しがちな食物繊維（ポリデキストロース）を配合しており、お腹をすっきりさせます。おなかの調子に気を付けている方に適しています。 | 飲みすぎあるいは体質・体調により、おなかがゆるくなる場合があります。 |
| エルワン | 株式会社エンザミン研究所 | 清涼飲料水 | ポリデキストロース | エルワンは食物繊維（ポリデキストロース）を適量に含有しているのでおなかの調子を整えます。 | 飲み過ぎにより一過性の下痢を起こすことがあります。 |

TOPICS

日本食物繊維研究会に関する記事紹介

日本食物繊維研究会設立 (漢方医薬新聞平成八年八月一日より)

待望されていた「日本食物繊維研究会」が誕生した。健康面で最近その重要性が主張されており、その効能、生理作用の更なる解明が要求されている。更に生体に必須の食品成分として位置づけられながらその定義も統一されていない。そうした中で「研究会」が創立されたことは極めて意義深い。(以上、原文抜粋)

その他、印南初代会長あいさつ、役員構成、日本食物繊維研究会設立記念講演会から「大腸癌における食物繊維研究の動向(弘前大学医学部 中路重之)」、「糖尿病の予防・治療と食物繊維の役割(東京慈恵医大健康医学センター 池田義雄)」に関する詳細内容が特集された。

「日本食物繊維研究会」の設立にあたって

印南 敏 (栄養学雑誌 Vol.54 No.4 263~265 (1996)より)

「日本食物繊維研究会」設立のための発起人総会が、1996年6月29日(土)午後1時より、昭和女子大学グリーンホールで開催された。総会には、研究会設立の趣旨に賛成された発起人11人のうち、過半数の出席を得て、日本食物繊維研究会設立組織委員会委員長(印南敏)の趣旨説明、経過報告の後議事に入り、日本食物繊維研究会会則(案)、役員選任(案)、及び名誉会員推薦の3案件が提案され、いずれも異議なく承認され、正式に発足した。(以上、原文抜粋)

その他、「日本食物繊維研究会」設立の目的と経緯、「日本食物繊維研究会」設立記念講演会等が記載された。

日本食物繊維研究会発足

—産官学で学際的研究推進—

(食品化学新聞 平成八年七月二十五日より)

このほど広く食物繊維を研究・討議する場として、「日本食物繊維研究会(会長・印南 敏東京農大客員教授)」が設立・組織された。研究会は六月二十九日、東京で設立総会を兼ねた記念講演会を開催、約三〇〇名の多数が参加し、研究会にも一五〇名を超える会員が入会し、発足した。会員には、食品、栄養、医学など多分野から産官学の第一線の研究者が参加しており、同会は食物繊維をはじめ関連・類似作用を持つ難消化性糖類など幅広い対象をテーマとして研究・開発の推進を図ることとしており、今後の活動に期待が寄せられている。(以上、原文抜粋)

「日本食物繊維研究会」設立

—産業界と研究者の橋渡しを—

初代会長インタビュー 印南 敏氏
(別冊ヘルスライフビジネスFOODFOOD
平成八年八月十五日より)

—会長としての抱負をお聞かせ下さい。

印南 食物繊維の認知度は高まりましたが、国民の摂取量は目標摂取量に達していません。ことに若年層でその傾向が強いです。将来が心配です。有効な利用方法についての啓蒙普及が大切と考えます。

一方では、産業界の方々とも話し合い、広く意見・要望を取り入れて、話し合いのテーマにしていくことが大切だと思います。学者や研究者だけの偏った意見に終始することなく、広く情報交換の場を提供していきたいと考えています。何度か言いますが、食物繊維の研究は非常に難しい段階に差しかかっています。そこに産業界が、特に中小の企業がどこまで手を出せるかという点も疑問が残ります。私たちはそうした所へも研究や話し合いの場を設けていきたいと思っています。産業界と、学者・研究者のつながりを持ち、食物繊維研究の発展に寄与できる研究会にしていきたいと思っています。

(以上、原文抜粋)

その他、研究会の設立に至る経緯、研究会の目的、食物繊維研究の現状、食物繊維の製品開発についての考え等がインタビュー形式で記載された。

事務局だより

1) 会員状況：平成8年9月11日現在

| | |
|------|------|
| 正会員 | 150名 |
| 学生会員 | 4名 |
| 賛助会員 | 28社 |
| 団体会員 | 3団体 |
| 名誉会員 | 6名 |

2) 日本食物繊維研究会設立記念講演会の抄録集「食物繊維研究の現状と展望」を販売いたします。郵送料込みで770円です。切手による支払いも受け付けます。ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。

3) 会員募集のお知らせ

皆様のご協力、ご理解のお陰で、会員状況は上記のようになっております。今後、研究会の活動を発展させていくためにも、さらなる会員数の増加が望まれております。

つきましては、食物繊維をはじめとする難消化性糖類周辺に関連のあります方々の参加を呼びかけていただきますよう御願ひ申し上げます。

【賛助会員】

| | | |
|---------------|-------------------|------------|
| 参松工業株式会社 | 太陽化学株式会社 | 株式会社荻野商店 |
| 全国精麦工業協同組合連合会 | 大日本製薬株式会社 | 日本食品化工株式会社 |
| 佐合食品工業株式会社 | カルター・フードサイエンス株式会社 | 大塚製薬株式会社 |
| 雪印乳業株式会社 | キッセイ薬品工業株式会社 | 伊那食品工業株式会社 |
| 財団法人日本こんにゃく協会 | 株式会社はくばく | 日本ケロッグ株式会社 |
| 株式会社林原生物化学研究所 | 社団法人菓子総合技術センター | 三州製菓株式会社 |
| 松谷化学工業株式会社 | サントリー株式会社 | オリヒロ株式会社 |
| 株式会社カイゲン | 富士バイオ株式会社 | 日清製粉株式会社 |
| 山ノ内製薬株式会社 | 日本甜菜製糖株式会社 | 武田薬品工業株式会社 |
| 日本バイオコン株式会社 | | (順不同) |

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No.1

発行日 : 1996年9月20日

発行人 : 日本食物繊維研究会会長 印南 敏

編集人 : 奥 恒行、青江誠一郎

事務局 : 日本食物繊維研究会事務局

〒162 東京都新宿区戸山1-23-1

国立健康・栄養研究所 食品科学部内

TEL : 03-3203-5601, FAX:03-3203-7584

印刷所 : 株式会社 交友社

〒136 東京都江東区大島8-38-5

